

深仙宿避難小屋の点検と大日岳山頂標識の更新

◇実施日 11月29日(水)

曇時々晴

◇参加者 梶野照雄

1名

11月4日、行仙宿に宿泊した小田原市の鈴木君から、深仙宿避難小屋の照明が点灯しなかった、と聞いて点検に向かった。併せて外れてしまった大日岳の山頂標識も交換した。



スコップも運ぶ

大日岳と深仙宿

八経ヶ岳までの稜線

深仙宿は昨年12月の窓ガラス交換以来の訪問になる。大日岳は山頂の坐像台座工事の際は10回ほど行ったが、最近ご無沙汰している。午前9時半前に登山口に着き、ザックと標識、スコップを背負子につけて歩きだす。このスコップは元々深仙宿にあったもので、

台座工事の終了時に間違えて太古の辻まで持って行きデポしてあったのを回収して、腐った柄を交換したものだ。

気温は4℃ほどあるが西風が強く、体感温度は0℃近いだろう。15分ほど歩くと上から若者が降りてきた。千丈平でテン泊したそいうだ。歩くと暑くないか?と思うほど防寒対策はバッチリだった。じっとしていると寒いので、いつもは休憩する場所も停まらず歩き、古田の森で背負子を降ろしてスコップを縛り直す。釈迦ヶ岳から八経ヶ岳までの稜線は真っ白になっている。西側の木々は霧氷の花が咲いて、モノクロの世界だが見とれてしまう。



千丈平

捲き道が出来ていた

深仙宿に着く

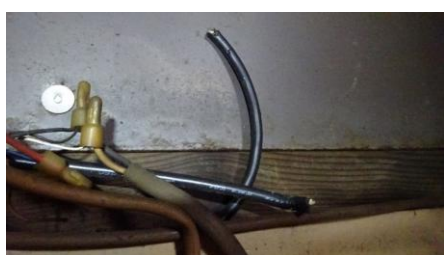
千丈平で5分間休んで深仙宿に向かう。途中のほんみちが架けた木橋には谷の上方にトラバース道が作られ、ロープも渡されていた。木橋は3本の丸太の内中央の一本が外れ落ちていた。道を塞いでいる笹も刈り取った後が見られ、今年整備されたようだ。

深仙宿に着き、お堂から脚立を出して小屋に運ぶ。スコップを小

屋に納めて大日岳に向かった。大日岳の迂回路は古いロープが植平さんによってクサリに交換されているので、安心感が増した。



今日はこのままにして、来春暖かくなってから解決策を講じることにした。



クサリに交換された

新旧の標識

交換終了

山頂標識を取り付け、写真を撮って深仙宿に戻る。帰りは行場の分岐から南西に笹をかき分けて奥駆道に降り、岩峰を迂回して深仙宿まで歩いた。

避難小屋で照明設備の点検を行う。電圧を計ってみるとソーラーパネルからのケーブルはゼロボルトだった。ケーブルを辿ってみると切断されている。どうやらネズミが噛み切ったようだ。タイマーの電源コードも切断されていた。ネズミが食いちぎるのは想定外で、対応できる工具の用意も無かったが、コードの長さに余裕があったので何とか元通りに接続することが出来た。ただ、電圧の変動が激しく、コントローラーも何も表示しない。噛み切られた時にショートしてソーラーパネルやコントローラーが破損した可能性も否定できない。寒くて屋根に上がってパネルの状態を調べるのも難しく、

笹の中を下る

噛み切られたケーブル

接続完了

大日岳から持って帰ってきた古い山頂標識を割って燃やし暖を取る。午後2時半、脚立をお堂に戻し深仙宿を後にした。帰路は古田の森で一度だけ休憩し、まだ明るいうちに登山口に戻った。(記：梶野)

行動タイム

太尾登山口 09:30 → 10:50 古田の森 → 11:30 千丈平 → 12:03 深仙宿 → 12:48 大日岳 13:08 → 13:42 深仙宿 14:25 → 15:00 千丈平 → 15:31 古田の森 → 16:37 太尾登山口